



令和5年6月30日

滋賀県初の「がんゲノム医療拠点病院」として がんゲノム医療の独自提供を開始します ～がんゲノム医療の普及と新たな医療開発の推進～ 【記者説明会のお知らせ】

滋賀医科大学医学部附属病院は、令和5年4月1日付で、がん遺伝子パネル検査による医療を提供する「がんゲノム医療拠点病院」として厚生労働省から指定を受けました。これは滋賀県で初めての指定であり、今回の指定により、患者さんへのより迅速ながんゲノム医療の提供が可能となりました。

－ 本件のポイント －

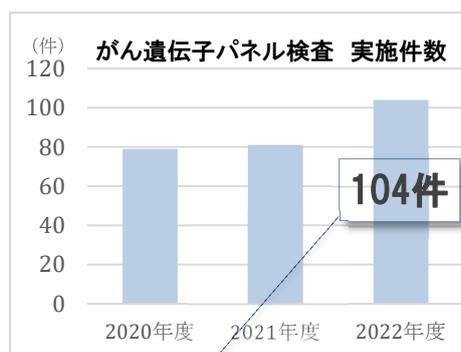
- ・厚生労働省が指定する「がんゲノム医療拠点病院」に滋賀県で初めて指定された。
- ・指定を受けたことにより、**遺伝子検査から分析までの過程を当院のみで完結させることが可能**となり、県民に向けてより迅速ながんゲノム医療の提供ができるようになった。
- ・令和5年6月からがんゲノム医療※1(がん遺伝子パネル検査※2)の独自提供を開始予定。
- ・滋賀医科大学が有する先端的ながん医療・研究体制と連携して、新たながんゲノム医療の開発に向けた取り組みを推進。

－ 本件の内容 －

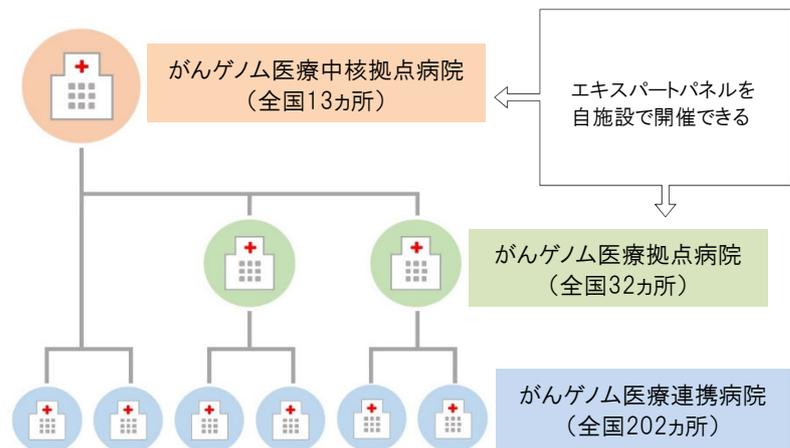
「がんゲノム医療拠点病院」は全国で32施設が指定を受けており、近畿圏では当院を含む6施設が、滋賀県では当院のみが唯一指定を受けています。

当院は、これまで「がんゲノム医療連携病院」として京都大学病院と協力して、着実な実績を上げてきたこと、滋賀県の支援(がんゲノム医療体制整備事業)を受け、県と本学が一体となっながんゲノム医療の体制整備と地域への普及に取り組んできた成果などを踏まえて、今回の指定に至りました。本指定により、自施設で、がん遺伝子パネル検査のエキスパートパネル(専門家会議)※3を開催できるようになったことから、遺伝子検査から結果の提供までを滋賀県内で完結することが可能となりました。これにより、患者さんへのより迅速ながんゲノム医療の提供が実現されます。

また、当院は、これまで、厚生労働省・地域がん診療連携拠点病院(高度型)や滋賀県・がん診療高度中核拠点病院の指定を受けており、大学附属の「先端がん研究センター」を設置して滋賀県における先進的ながん医療の展開と高度がん医療人材の育成に取り組んできました。今後は、本学が有する先端的ながん医療・研究体制と連携して、新たながんゲノム医療の開発にも取り組んでいきます。



京都大学病院のがんゲノム医療連携病院(18施設)の中でも最上位の検査実績



－ 記者説明会 －

つきましては、ご説明と取材対応の場を以下のとおり設けさせていただくことになりましたので、当日取材にお越し頂き、紙面等でご紹介いただければ幸いです。

◆日時：令和5年7月11日(火) 13:00～

※ご参加いただける場合は、7月5日(水)までに本学広報係:hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp
にご連絡をお願いします。

◆会場：滋賀県庁 記者会見室

◆説明者：滋賀医科大学医学部附属病院

病院長 田中 俊宏(たなか としひろ)

滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座、先端がん研究センター

滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍内科、腫瘍センター

教授・センター長 醍醐 弥太郎(だいが やたろう)

特任講師・医局長 寺本 晃治(てらもと こうじ)

－ 用語解説 －

※1 がんゲノム医療

がん細胞に起きている遺伝子の変化(がんゲノムプロファイル)を調べることで、がんの特徴を明らかにして、それに基づいて患者さん一人一人に合った治療法や健康管理の方法を見つける医療。

※2 がん遺伝子パネル検査

がんゲノムプロファイルを調べるための検査で、がんに関連する遺伝子を約100～300種類、一度に解析する。

※3 エキスパートパネル(専門家会議)

がん遺伝子パネル検査の結果を医学的に解釈して治療の提案を行うための多職種による検討会。がんゲノム医療中核拠点病院・がんゲノム医療拠点病院では自施設での開催が可能。

《本件の詳細に関するお問い合わせ先》

滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座・腫瘍内科
醍醐 弥太郎
e-mail: ydaigo@belle.shiga-med.ac.jp

《プレスリリースに関するお問い合わせ先》

滋賀医科大学 総務企画課 広報係
TEL: 077-548-2012(担当: 岩品)
e-mail: hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp